

鳴門教育大学研究紀要

第 39 卷

鳴 門 教 育 大 学

2024

目 次 (Contents)

教育科学編

EDUCATION SCIENCES

-
- ・「小児期」から「現在」に至る性別違和感の変容プロセスと影響要因
.....葛 西 真記子, 高 山 満里奈 (1)
Developmental process and influencing factors of gender dysphoria from childhood to the present
KASAI Makiko and TAKAYAMA Marina
- ・教員のための箱庭体験グループ
— 現場での活用の課題と工夫 —久 米 禎 子 (26)
Sandplay group for schoolteachers: problems and point to be improved for practical application
KUME Teiko
- ・日本における「心理教育プログラム」の恒常的安定実施への展望と課題.....山 崎 勝 之 (37)
Challenges and Prospects for Regular and Stable Implementation
of Psychological Education Programs in Japanese Schools YAMASAKI Katsuyuki
- ・感情教育介入による情動焦点型コーピングの変容に及ぼす潜在的・顕在的感情の影響
.....内 田 香奈子, 山 崎 勝 之 (48)
Effectiveness of an Emotional Education Program to Enhance Emotion-Focused Coping
for Children Utilizing Implicit and Explicit Affect UCHIDA Kanako and YAMASAKI Katsuyuki
- ・ Student Feedback About Online LearningGerard Marchesseau (56)
- ・算数教科書「図形」領域における教えられるべき知識に関する研究
.....早 田 透 (65)
The character of geometrical knowledge to be taught in mathematics textbook
for Japanese elementary schoolHAYATA Toru
- ・オンライン空間における日米大学生の共同デザイン制作「Shared Living Space」
— 制作プロセスの記録と学習者の振り返りの分析と考察 — ...家 崎 萌, リョウ クリスティン (82)
“Shared Living Space” a collaborative design production by Japanese and US
university students in an online space: An analysis and discussion of the production
process and learner reflections
IEZAKI Moe and LIAO Christine
- ・教師と教職大学院が追求する教師能力の不一致.....胸 組 虎 胤 (96)
Discrepancies in Teacher Abilities Pursued by Teachers and Graduate Teacher Training Schools
MUNEGUMI Toratane
- ・白黒反転資料の見やすさ：視認性・可読性・閲覧時間の分析.....高 原 光 恵 (111)
Study on visibility of black and white reversed materials:
Analysis of visibility, readability, and reading speed TAKAHARA Mitsue

- ・増田友也建築の幼稚園における保育に関する検討 (I)
— 鳴門市瀬戸幼稚園に焦点をあてて — ……………塩路 晶子 (120)
A Study on education at kindergarten designed by MASUDA Tomoya;
Focusing on Seto Kindergarten in Naruto City SHIOJI Akiko
- ・スクール・エンゲージメントとネガティブマインドワンダリングの関連によるレジリエンス形成の研究
……………池田 誠喜, 斉藤 想能美 (133)
……………澤田 智子, 小坂 浩嗣
A study of building resilience through the relationship
between school engagement and negative mind-wandering
IKEDA Seiki, SAITO Sonomi, SAWADA Tomoko and KOSAKA Hirotsugu
- ・道徳的アイデンティティに関連する海外文献レビュー……………岡田 康孝 (144)
Review of foreign literature related to moral identity OKADA Yasutaka
- ・「手書き」と「タイピング書字」に伴う認知と思考を考慮した教育についての一考察
……………皆川 直凡, 竹口 幸志 (155)
One consideration about the Education Considering the Cognition
and Thinking accompanied with Handwriting or Typing
MINAGAWA Naohiro and TAKEGUCHI Koji
- ・盲学校における職場包摂性の向上を目指した校内研修の効果測定……………石川 勝彦, 長井 恵李 (166)
Measuring the effectiveness of in-school training to improve workplace inclusion in schools for the blind
ISHIKAWA Katsuhiko and NAGAI Eri

人文・社会科学編

HUMANS AND SOCIAL SCIENCES

- ・昭和期におけるTVヒーローのイメージに関する試論……………今田 雄三 (179)
A Trial Theory on the Image of TV Heroes in the Showa Period IMADA Yuzo
- ・日本語学習者はスピーチスタイルをどう認識しているか……………岡崎 渉 (194)
— 日本滞在にともなう認識の変化についての事例研究 —
How do Japanese learners recognize speech style in Japanese?
— A case study on the transformation of recognition with speech style over staying in Japan —
OKAZAKI Wataru
- ・ナラ節の複文による反事実条件文
— ナラ節の複文の特徴との関連 — ……………宮部 真由美 (206)
Analysis of compound sentences with *nara*-subordinate clauses expressing counterfactuals
MIYABE Mayumi
- ・東明山童学寺における近世住職の修学と伝授
— 中興一世湛霊から七世黙雅を中心に — ……………原 卓志 (219)
A Study on the Learning and Transmission at *Tomeizan Dogaku-ji* in the Early Modern
Period: Focusing on the Abbots from the First Generation
of Revival *Tanrei* to the Seventh Generation *Mokuga*
HARA Takuji

- ・感傷から一步はみ出る“平和教材”の読みをめぐる……構 大 樹 (254)
— 田宮虎彦「沖縄の手記から」の拒絶と絡みつく視線 —

A Study of Reading, Not Sympathetic to War Literature:

On Rejection and the Entangled Gaze in Torahiko Tamiya's "*Okinawa no shuki kara*" KAMAE Daiki

- ・漢籍における地理と地利

— 主として唐以前 — ……………立 岡 裕 士 (266)

History of the word 'dili' [geography] in Chinese texts until Tang Dynasty TATUOKA Yuuzi

- ・近世山里の年貢と山茶

— 阿波国那賀郡木頭村を中心に — ……………町 田 哲 (337)

The Annual Tribute Paid by Early Modern Mountain Villages and Camellia Tea:

A Case Study Focusing on Kito Village in Awa Domain's Naka County

MACHIDA Tetsu

芸 術 編

ARTS

- ・唱歌《茶つみ》学習過程にみる指導内容4側面の関連

— 質としてのイメージに着目して — ……………鉄 口 真理子, 清 水 美 穂 (368)

Relationship between Four Aspects of Instructional content

in the Learning Process of the Song "Chatsumi"

— Focusing on the Quality as Image —

TETSUGUCHI Mariko and SHIMIZU Miho

- ・米国の新聞にみる Rudy Wiedoeft の活動

— 米国議会図書館アーカイブ記事目録の分析を通して — ……………日 下 瑤 子 (381)

Saxophonist Rudy Wiedoeft's Contributions to Music:

Analysis of the Library of Congress's Newspaper Archives

KUSAKA Yoko

- ・洞窟壁画レプリカ展示博物館の調査研究……………小 川 勝 (396)

Research and study of a museum displaying replicas of parietal art

OGAWA Masaru

生活・健康編

HEALTH AND LIVING SCIENCES

- ・住教育の教科等横断的な指導に関する一考察

— 家庭科住居領域「住居の安全」に着目して — ……………速 水 多佳子 (417)

A Study on the Cross-curricular Guidance of Housing:

Focusing on "Housing Safety" in the Housing Area of the Home Economics

HAYAMI Takako

- ・情報モラル教育と欧州デジタルシティズンシップ教育の構成概念の分析……………竹 口 幸 志 (428)

Conceptual Research for Information Ethics Education in Japan

and Digital Citizenship Education in EU

TAKEGUUCHI Koji

執筆者紹介(掲載順)

■教育科学編

葛西 真記子	鳴門教育大学心理臨床コース (臨床心理学)
久米 禎子	鳴門教育大学心理臨床コース (臨床心理学)
山崎 勝之	鳴門教育大学心理臨床コース (心理・教育科学)
内田 香奈子	鳴門教育大学心理臨床コース (心理・教育科学)
Gerard Marchesseau	鳴門教育大学グローバル教育コース
早田 透	鳴門教育大学数学科教育コース
家崎 萌	鳴門教育大学美術科教育コース
胸組 虎胤	鳴門教育大学教育探究総合コース
高原 光恵	鳴門教育大学特別支援教育コース
塩路 晶子	鳴門教育大学幼児教育コース
池田 誠喜	鳴門教育大学生徒指導コース
岡田 康孝	鳴門教育大学生徒指導コース
皆川 直凡	鳴門教育大学学習指導力・ICT教育実践力開発コース
石川 勝彦	鳴門教育大学学習指導力・ICT教育実践力開発コース

■人文・社会科学編

今田 雄三	鳴門教育大学心理臨床コース (臨床心理学)
岡崎 渉	鳴門教育大学グローバル教育コース
宮部 真由美	鳴門教育大学グローバル教育コース
原 卓志	鳴門教育大学国語科教育コース
構 大樹	鳴門教育大学国語科教育コース
立岡 裕士	鳴門教育大学社会科教育コース
町田 哲	鳴門教育大学社会科教育コース

■芸術編

鉄口 真理子	鳴門教育大学音楽科教育コース
日下 瑶子	鳴門教育大学音楽科教育コース
小川 勝	鳴門教育大学美術科教育コース

■生活・健康編

速水 多佳子	鳴門教育大学家庭科教育コース
竹口 幸志	鳴門教育大学学習指導力・ICT教育実践力開発コース

鳴門教育大学研究紀要編集・発行要項

	平成16年	5月27日
	学 長	裁 定
改正	平成17年	5月13日
	平成18年	6月 1日
	平成18年10月	17日
	平成23年	8月 8日
	平成27年	3月19日
	平成29年	4月26日
	令和 3年	5月31日

(趣旨)

第1 この要項は、鳴門教育大学（以下「本学」という。）が研究の成果を発表するために発行する「鳴門教育大学研究紀要」（以下「紀要」という。）の編集及び発行について必要な事項を定める。

(編集・発行)

第2 紀要の編集及び発行は、国立大学法人鳴門教育大学学術研究推進委員会（以下「委員会」という。）が行う。

(発行形態・資格)

第3 紀要は、教育科学編、人文・社会科学編、自然科学編、芸術編及び生活・健康編とする。

第4 紀要は、CD-ROM形式とし、毎年度1回発行する。

第5 紀要に執筆及び投稿できる者は、次のとおりとする。

- (1) 本学の専任教員、研究員、外国人客員研究員
- (2) 本学の専任教員を論文の筆頭者とした場合の共同研究者
- (3) その他委員会が特に認めた者

(投稿点数・留意事項)

第6 第一著者として投稿できる論文点数は、原則として1執筆者1論文とする。共著論文の場合は、論文筆頭者は1論文とみなす。

第7 投稿する論文（実践論文を含む。）（以下「論文」という。）は、論文として未発表のものに限る。

第8 投稿する論文の提出期限は、毎年9月末日とし、それ以後に提出されたものは受理しない。

2 論文は、原則として横書きとする。

3 論文は、邦文の場合は2,400字を、欧文の場合は4,800字を1ページとする。

第9 第8の3の規定にかかわらず、別刷りを希望する場合は、1論文当たり図表・写真等及び論文要旨を含み15ページを制限ページ数とする。ただし、論文要旨は、1ページを原則とする。

(論文の査読)

第10 委員会は、投稿された論文を、選定した査読者に査読させるものとする。

2 委員会は、3名の査読者を選定し、うち1名以上は学外者とする。

(著作権等)

第11 投稿する論文の著作権は、鳴門教育大学機関リポジトリ要項（平成26年学長裁定）に基づき、投稿者に帰属するとともに、当該論文を公開（Webによる公開を含む。）することについて著者の許諾があったものとして取り扱う。

2 投稿者は本学に対し、当該論文の外部機関を含めたWebや印刷等での公開・転載・複製等を承諾するものとする。

3 論文中における文章・図・表・写真等の引用は、適切に行う。著作権に抵触する場合は、事前に著作者の許諾を得る。

第12 共著論文の論文の筆頭者は、当該論文全ての共著者に、共著者である旨及び公開する旨の同意を文書により得なければならない。

2 前項の文書を得られない場合、本学は、共著論文の投稿を受理しない。

(実施細目)

第13 この要項に定めるもののほか、紀要の編集及び発行の実施に関し必要な細目は、委員会が別に

定める。

附 則

この要項は、平成16年 5月27日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年 5月13日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年 6月 1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年10月17日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年 8月 8日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年 3月19日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成29年 4月26日から施行する。

附 則

この要項は、令和 3年 5月31日から施行する。